

(案)

学校長へのお願い

東京大学では、出願要件として以下の3つのうちの1つを提出することを受験生に求めています。

- (1) 大学入試センターによって「大学入試英語成績提供システム」の参加要件を満たすと確認された民間の英語資格・検定試験の成績（ただし、CEFRとの対照表でA2レベル以上に相当するもの）。
- (2) 日常の授業における学習状況や試験の成績等から総合的に評価した結果、CEFRのA2レベル以上に相当する英語力があると認められることが明記されている高等学校等による証明書。
- (3) 何らかの理由で上記(1)(2)のいずれも提出できない者は、その事情を明記した理由書。

このうち、本学を受験しようとする者から、上記(2)の証明書の発行を求められた場合には、指定の様式により証明書を発行していただけるよう、お願いいたします。証明書は調査書とは別に厳封の上、受験生にお渡しく下さい。

個々の受験生の英語力についていちばん正確に把握しているのは、高等学校の現場で日常的に指導にあたっている先生方であることから、東京大学としてはその評価を信頼し、尊重いたします。したがって、評価の具体的な根拠を証明書に記載していただく必要はありません。なお、もし当該学生の英語力についての特記事項（大学入試センターの成績提供システムに含まれない英語資格・検定試験の受検歴及び成績、在学中の留学経験、英語を用いた活動歴等）がある場合は、証明書ではなく、調査書の「指導上参考となる諸事項」欄もしくは「備考」欄に記載してください（特記事項の記載の有無や内容は出願資格の認定には影響しません）。

(案)

(様式)

大学記入欄

英語力についての証明書

年 月 日

東京大学総長 殿

学校名 _____

校長名 _____ 公印

下記の者は、CEFRのA2レベルとして欧州評議会が示している(1)～(3)の事柄を参考にし、本校在学中に履修した英語に関する科目の日常の授業における学習状況や試験の成績等から総合的に評価した結果、CEFRのA2レベル以上に相当する英語力を有すると判断します。

氏名 _____

生年月日 (西暦) _____ 年 _____ 月 _____ 日生

参考

- (1) 個人や家族のごく基本的な情報や、買い物、近所の地理、仕事などの直接的な関係のある領域について、文やよく用いられる表現を理解できる。
- (2) 馴染みのある日常的なことがらについて、単純で直接的な情報のやりとりを通して簡単なコミュニケーションができる。
- (3) 自分の生い立ちや身の回りのこと、直接的に必要なある領域のことがらについて、簡単なことばで記述できる。